



「大きくなるということは・・・。」

(どの子どもみんなが1年間、元気に・なかよく・楽しくすごせるために)

平成26年度1学期始業式の朝。さわやかな緑の風によって、花の香りも漂うなか、毎年この日のうれしい時間。桃五小の2年生から6年生までの子どもたちが足どりもかるく、輝くような笑顔で登校してきます。気持ちがそのまま表れたようなはずんだ声で「おはようございます。」と口々に挨拶を返していってくれます。遠くのほうから手を振って、「こうちょうせんせい。」と、かけてくれる声に思わず笑顔がこぼれる朝です。最近はお母さんに言われたのか、とても丁寧に挨拶してくれる子も多く、膝に手をそろえて「1ねんかんどうかよろしくおねがいたします。」「はっ、はい。ご丁寧にありがとうございます。こちらこそどうかよろしくお願いたします。・・・」

どの学年の子ども、前年度(つい1, 2週間前なのですが)より一回りたくましくなった笑顔が、進級の喜びに輝いています。今日の入学式で仲間入りする1年生はもちろんですが、2年生から6年生までの子どもたちも、身も心もピッカピカでの登校です。

桃五小の子どもたちの来るのを待っていたように、3学期には茶色かったのがうそのように校庭の芝生も鮮やかな緑色です。そんな、緑鮮やかな校庭の始業式、1年の始まりに、次のような話をしました。

新しい学年、新しいクラス、1年の最初の挨拶です。元気にあいさつしましょう。
お早うございます。(おはようございます。)

つい何日前までとは違い、1年生は2年生に、2年生は3年生に、3年生は4年生に、4年生は5年生に。そして、5年生は最上級生の6年生になりました。

皆さん進級おめでとうございます。

このあと、入学式で、新しい1年生も桃五小の仲間入りをします。こんなふうに今日みんなが進級し、新しい1年生が入学して新しい1年を始めることができるのは、じつは、今そこにいる6年生のおかげです。

1年生から5年生までの皆さんが、まだ春休みで休んでいた昨日の午前中、新6年生が全員学校に来て、始業式や入学式など、桃五小が新しい1年を始められるように、荷物を運んだり新1年生の教室を掃除して名札を付けたり、体育館を掃除したり、いろいろなお

仕事のお手伝いをしてくれたのです。

そのおかげで、今日皆さんは新しい学年に進級できているのです。6年生の皆さんありがとう。

そして、ついこの間まで一緒にいた前の6年生も、今頃はきっと中学生になるための心の準備をしていることでしょうね。

さて、こうやって皆さんが「大きくなるということは、できるようになったことが増えてきたということ。そして、いろいろなことができるようになったということは、やってはいけないことややらなければいけないことが増えてきたということ。そして、何より自分より年下の子が増えるということ

ですから、自分の力で我慢したり努力したりして、やっていいこと悪いこと、やらなければいけないことをきちんと見分けて、我慢してがんばれることができるようにしたいですね。それが、大きくなった子が年下の子を大切にすることです。」

学校はどの子ども、みんなが、「元気に、なかよく、楽しく」過ごせる場所でなければいけません。

「元気に」、怪我や病気にならずいつも健康で明るくすごせるように皆がお互いに気をつけ合おう。

」「なかよく」、自分も人もみんながいやな思いをせず過ごせるために、それぞれに少しずつの我慢を出し合って人の気持ちを大切にしよう。

「楽しく」、だれもができないことをできるように頑張り、得意なこと面白いことを見つけることができるようにお互いを大切にしよう。

こんな気持ちで桃五小の皆さん一人一人が過ごしていけると、きっと友達をたくさん作り、苦手なことに頑張り、夢中になって取り組めるおもしろそうなことをみんなが見つけれられる、そんな楽しい学校にすることができると思います。

桃五の子みんなが元気に、なかよく、楽しく1年間過ごせるように、友達に、教室に、緑の校庭に先生に、挨拶しましょう。「1年間、よろしくお願いします。」

(「よろしくお願いします。」の挨拶でスタートです。)

桃五小のすべての子どもたちが「元気に、仲よく、楽しく」すごせることをめあてに、『当たり前のことを当たり前と感じ、当たり前で自分で考え、当たり前に行動できる力』を育てるため、本年度も職員一同心を新たに「共育」の活動を進めてまいりたいと存じます。よろしくお願い申し上げます。